

特55

842

御嶽大神拝詞記
全

014645-000-2

特55-842

御嶽大神拝詞記

根本 覺太郎 / 刊

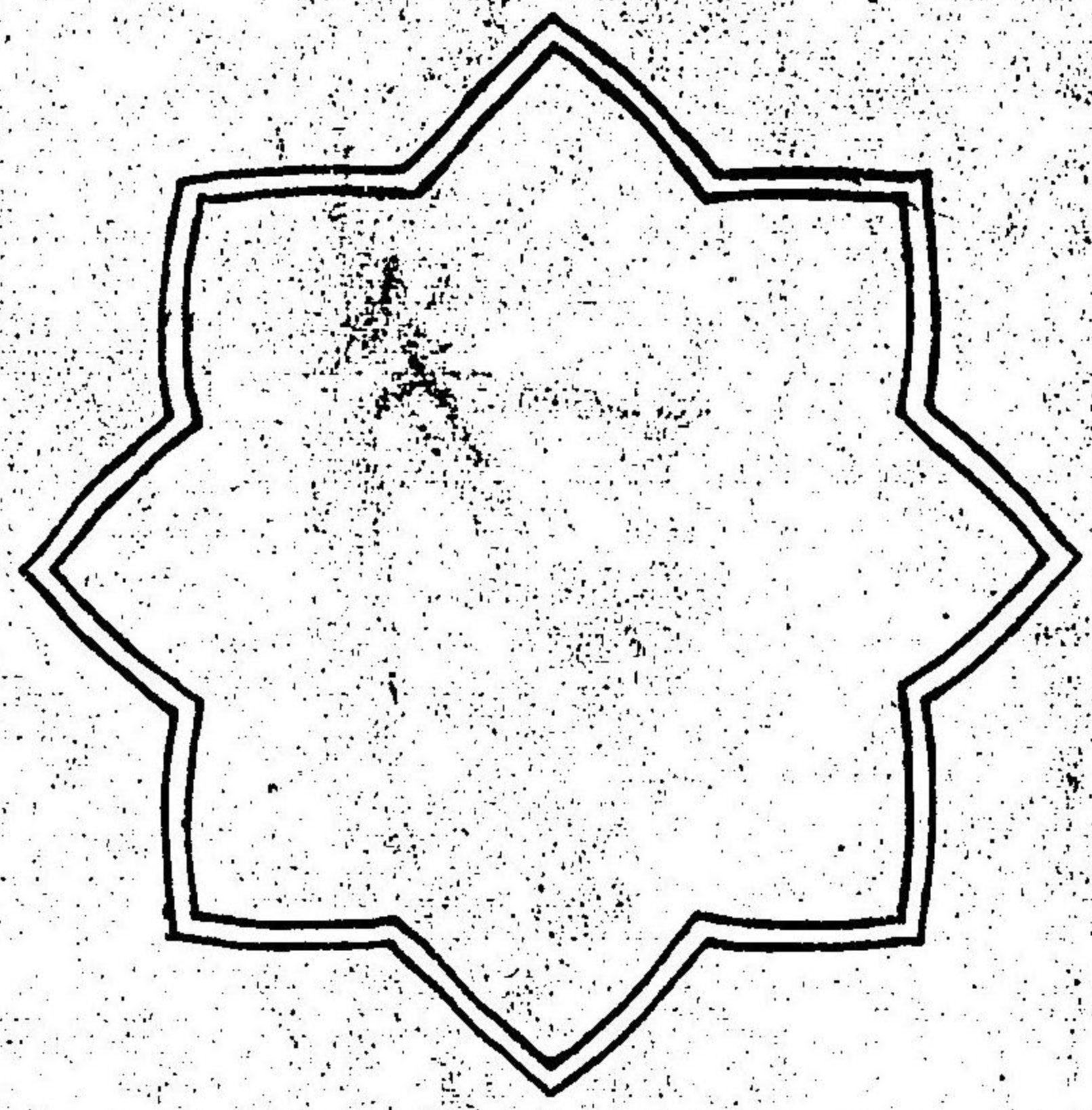
M23

ABB-1076



特55 No. 39481
842 / 23

宋 史 記
卷 之 一



宋 史 記
卷 之 一

福至

福

子

子

致

法一任心之學 源慶永



御嶽大神拜詞記

訓導根本覺太郎謹撰

身潔詞



高天原たつまの爾よ神留坐須神魯岐神魯かむづまうますかむろぎかむろ

美乃命以みの皇御祖神伊邪那岐すめみかやかむいざなぎの

命筑紫乃日向乃橘乃小戸乃阿みこつくしひむろのたちをなむをどあ

波岐原爾御禊祓比給布時爾生なぎをらふみそぎをらひたまふときよあれ

坐留祓戸乃大神等諸乃枉事罪ませるをらひどのおほかみたちもろくのまかごとつみ

穢乎祓比賜閑清米賜閑申須事けぐれををらひたまへきよめたまへとまをすこと

乃由乎天津神國津神八百萬乃のよりをあまつかみくにつかみやほよろづの

神等共爾天出斑馬能耳振立かみたちともよあめのふちごまのみみふりたて

聞食登恐美恐母美白須
きこーりせし。かこみ。かこみもまをす。

大祓詞

高天原爾神留坐皇親神漏岐神
たかまのたらに。かむづまりますすめらがむつかむろぎ。かむ

漏美乃命以氏八百萬神等乎神
ろみのみこともちて。やはよろづのかみたちを。かむ

集爾集賜比神議爾議賜氏我皇
つどくに。つどへたまひ。かむえかりにはかりたまひて。あがすめ

御孫命波豐葦原乃水穗乃國乎
みまのみこととは。とよありはらのみづほめくにを

安國止平久所知食止事依奉岐
やすくに。とたひらけく。若ろ。めせ。ことよざしまつりき

如此依志奉志國中爾荒振神等
かくよきしまつりし。くにのうち。にあらぶるかみども

をばかむとはしにとはしたまひかむはらひにはらひたまひ
乎。神問志。爾問志。賜比。神掃。爾掃。賜

氏。語問志。磐根樹立。草乃垣葉。乎。
て。こととひし。いはね。きね。たちくさめ。かきは。をも

語止。天乃磐座。放天乃八重雲
ことやめて。あめの。いはくら。はなれあめの。やへくも

乎。伊頭乃千別。爾千別。天降依
をいづ。の。ち。わきに。ち。わきて。あまく。たし。よぎ

志奉支。如此依志奉。志四方乃國
しまつり。き。かく。よぎ。しまつり。し。よ。も。の。くに。の

中登。大倭日高見乃國。平安國止
みやかと。おほやまと。ひ。たかみ。の。くに。を。やすくに。と

定奉。下津磐根。宮柱太敷立
さだめ。まつり。て。した。つ。いは。ね。に。みや。ば。しら。ふ。とし。き。た。て

高天原。爾千木高知。皇御孫命
たかまの。はら。に。ち。ぎ。たか。しり。て。すめ。みまの。み。こと

乃。美頭。乃御舍仕奉。天乃御蔭。

日乃御蔭止。隱坐。安國止。平久

所知食武。如此知食須國中爾成

出武。天乃益人等我。過犯家雜二

乃罪事波。天津罪止。畔放溝埋。槌

放頻時串刺。生剝。逆剝。屎戶。許二

太久乃罪乎。天津罪止。法別。國

津罪止。生膚斷。死膚斷。白人胡久

美已我母犯罪已我子犯罪母止

子止犯罪子止母止犯罪畜犯罪

昆虫乃災高津神乃災高津鳥乃

災畜仆志蠱物為罪許ニ太久乃

罪出武如此出婆天津宮事以互

天津金木乎本打切末打斷氏千

坐乃置坐爾置足波志天津菅曾

平本荊斷末荊切氏八針爾取辟

てあまつのりとのふとのりとむとをのぬ
氏。天津祝詞乃太祝詞事乎宣礼。

かくのらばあまつかみはあめのいはとをかし
如此宣婆天津神波天磐門乎推

ひらきてあめのやへくもをいづのちわき
披氏天乃八重雲乎伊頭乃千別

にちわきてしろしめさむくにつかみはたか
爾。千別氏所聞食武國津神波高

やまのすゑひきやまのすゑにのぼりましてたかやま
山乃末短山乃末爾上坐氏高山

のいぼりひきやまのいぼりをかきわけ
乃伊穗理短山乃伊穗理乎搔別

てしろしめさむかくしろしめしてはつみと
氏所聞食武如此所聞食滋罪止

いふつみはあらじとしなどのかせのあめ
云布罪波不在止科戸乃風乃天

のヤへくもをふきはなつことのごとくあしたの
乃八重雲乎吹放事乃如久朝乃

御霧夕乃御霧乎朝風夕風乃吹

掃事乃如久大津邊爾居大船乎

舳解放艦解放也大海原爾押放

事乃如久彼方乃繁木我本乎燒

鎌乃敏鎌以也打掃事乃如久遺

罪波不在止祓給比清給事乎高

山末短山乃末與佐久那太理爾

落多支津。速川乃瀬爾坐須瀬織。

津比咩止云神大海原爾持出武奈。

如此持出往婆荒鹽乃鹽乃八百

道乃。八鹽道乃鹽乃八百會爾座

須速開都比咩止云神持可ニ吞

武氏如此可ニ吞婆氣吹戶爾坐須

氣吹戶主止云神根國底國爾氣

吹放牟氏如此伊吹放婆根國底國

爾ニ坐マ須ス速ク佐サ須ス良ニ比ヒ咩ヤ止シ云ク神カミ持テ

佐サ須ス良ニ比ヒ失シ軀ク如ク此ノ失シ婆バ罪ツミ止シ云ク

布フ罪ツミ波ハ不レ在リ止シ被レ給ル比ヒ清ス給ル事コト乎カ

所キコ聞メ食セ止シ申ス

天津祝詞

ひみよいむなやこともちろ
らねしきるゆおつるぬそをた
はくめかうたにまさりへその
ひみよいむなやこともちろ
らねしきるゆおつるぬそをた
はくめかうたにまさりへその

ますあせ名ほれけ
ふひるるるるるる

神招祝詞

掛卷母。恐伎。御嶽山。爾鎮坐須大

已貴大神。少彦名大神。此里乎總

守坐須。產土大神等乎。是乃神床

爾招奉齋奉。且御前。爾慎美敬比

畏美畏美奉留。今日乃禮代能幣

帛止捧持。大幣帛乎。安幣帛。迺足

幣帛止見志給比受給比乞願申
事乃神意爾叶波閑留平久安久介聞
食止恐美恐美白須

拜御嶽大神詞

動伎無伎御代能鎮免御嶽山乃
底津磐根爾大宮柱太敷立高天
原爾千木高知豆鎮坐須言卷毛
貴伎大己貴大神少彥名大神等

延御前爾慎美敬比畏美畏母美白

佐文尔畏支现津御神刀大八洲

國知食須天皇能大御代乎堅磐

尔常磐尔齋奉里茂御世尔幸倍

賜比諸乃官人等我忠诚留心袁

以且仕奉留事尔勲功乎立結給

比我親族乃者等以惡心無久穢

心無久家業怠留事無久神隨乃

大道おほみち。今いま仕奉つかまつ。結賜むすたまひ。此こゝ過犯あやまちをかせる。留罪とどめ。穢けがれ

在あ。婆む。衰をむ。神直日かむまなび。大直日あやあむび。今いま見直志よこあやし

聞直志きこまろし。坐ま。氏うぢ。家内安やす。久ひさ。穗尔むたひよ。上我かみ

上かみ。下我したまろ。下した。今いま至迄いたるまじ。恙まじ。伎事わざ。無な。久ひさ。夜よ

乃守日のまもりひ。乃守のまもり。今いま護幸たまへ。倍賜たまたま。止とど。畏かしこ。美こゝ

畏かしこ。咲こゝろ。乞こゝろ。祈奉いのたま。根久ねひさ。白須まをす

拜産土大神詞

掛卷毛かけまくも。畏かしこ。伎わざ。此里このこゝ。衰を。总守坐すま。须产まもりま。須产す

土大神能。宇豆乃廣前。介恐美恐。

美白久佐大神乃廣伎厚伎神惠止。

産業立榮延家。介禍津日乃枉事。

無久身。介諸乃災無久親族能者。

等已我。乖二在事無久。賑比睦毘。

有經留事波大神乃守給布故止。

情美忝美仰伎奉謝留狀乎。平介。

安久介聞食豆。產子能八十氏人禍。

事無久彌益ことなく。いやまさりニたちさうえしめたまへと立榮た結給止かして聞恐

美恐かしてこもる。まをす毛美まをす白須

辭別ことわけて豆まを白さく。佐いま今御嶽大神み たけの つかみ余ま聞上きこへ

乞祈奉狀こひのこまろもさまを乎さとしめして聞食み たけの つか豆り御嶽大神止と

協力同心賜みちからとあはせみこころをひとつし比神幸蒙たまひてみめぐを粮らうしめ志賜たまへ止と

鹿自物かじもの膝折ひざをり伏ふせ伏う鷄自物トリもの頂根うね突つぎ拔ぬき

豆て。かして畏美かして畏みも毛美まをす白須まをす

祈當病平愈詞

信濃國筑摩郡木曾乃里留御嶽

山乃底津磐根余宮柱太敷立高

天原余比木高知余鎮坐須大已

貴大神少彥名大神乃御前余慎

美敬比畏美畏美白佐何其以病者の姓

日頃病起余甚煩惱苦悶留故余

種二思乎凝志心衰盡氏補養開

毛効驗無久身體甚久勞衰倍困

牟む狀さま乎を親う族から乃ら者の等もの難ごと患な氏げ諸き共あ

介ま議た碁ろ智ち乃て大か神か等こ能た恩ち賴の乎こ仰た

伎き奉ま蒙つ止ら良む武し清き伎よ赤き伎あ真る心ま以こ乃ろ止も

古い能ま法し乃の任ま介よ大か神か等こ乎た招ち奉を齋か

奉ま氏つ禮り代て乃の幣こ帛て乎ら捧を持さ乃け止も乞ち祈て

奉ま狀つ乎る平ま介つ安つ介る聞か食こ加よ世の白た須し如め

此こ仕つ奉ら故ま介つ神つ代ら乃の初は乃じ時め大の神と

等た廼ち諸の乃も病ろ乎く療の留や藥ま乃ひ方を止お禁さ

厭乃方料定給比。蒼生袁愛美給

比。助給比。救給比。幸給布。廣伎厚

伎。御制乃。隨介。恩賴乎。神隨蒙米

是乃病袁志。朝乃御霧。夕乃御

霧乎。朝風夕風乃。吹拂事乃如久。

淡雪乃。春乃。日影介。消賀如久。秋

乃夜乃。明伎計月乎。見賀如久。清久

美久。速久。平久。直給比。愈給比。禍

神乃禍事有婆袁大神乃遠神代

荒振神乎高久貴伎神威乎神

隨顯志賜比八尋矛生太刀生弓

矢以比坂乃御尾介追伏河乃瀨

介神攘介攘給志事乃如久平介

安久介聞食世鹿自物膝折伏鷄自

物頂根突拔比畏美畏美白須

辭別比枝宮枝社介坐須神及天

かこくふつかきや 不よろづのかこたちをかしこも かしこも
神地祇八百萬神等乎恐美恐毛

まろがてまをさくいまこたけのわわくまよきこあげ
拜氏白佐今御嶽大神今聞上津

ことのみやを つばら ぎこめーて かわくたち
事由乎委曲今聞食今大神等廻

あきとひしきをうつらしま たまひひししたまふ ひろきあつ
蒼生乎愛美給比養給布廣支厚

まお不とこころとたじめたまひまへるときあま
支大神心止始給比教給留時天

こーのこづのこたからを ふりうごうーて びのこことよ
璽乃瑞寶乎振動志饒速日命今

さづけたまひてのりたまてくしーいこむところあらを とくさ
授給比宜給久波若痛所在婆十種

のこたうらをもちて ちきつうもへつうと
乃神寶乎以今澳津鏡邊津鏡十

つきのつるぎいくたまたる たままるるうのたま ちううのたまおちの
握劍。生玉。足玉。死反玉。道反玉。蛇。

比禮。蜂比禮。種ニ物比禮。一。二。三。

四。五。六。七。八。九。十。止言。布留閑。

由良。由良止。布留閑。如此為婆死。

人毛。生反。輿止。那詔賜。伎如此。奇久。

妙留。法乃隨。介謹。美敬比。仕奉留。

狀乎。平熾。安熾。聞食。豆御。嶽大神。

止協力同心賜。此此乃病。速尅。

直之給比愈志給比其神驗袁顯

波給登倍畏美畏美乞祈奉止良久白

須

又白久佐御山乃坂道路分三講社

袁教導伎仕奉初齋靈神總三御

山介功有起人靈等介申久佐今大

神等介乞祈奉留狀乎平安介

聞食三守惠幸賜止倍恐美恐美白

須す

祭祀祝詞

掛卷毛畏伎。大已貴大神。少彦名

大神。二神乃大神等能。御前。今畏

美畏。美毛白佐。八十日。日波在。今

日乎。生日乃足。日止齋定。且獻幣

帛波。和衣。荒衣。御酒。波。甕邊。高知

里。甕腹。滿竝。且。大海原。且。生物。波。

さだのひろものさだのさものねきつものさへ
鰭乃廣物鰭乃狹物奥津藻菜邊

つもさねぬのさらよねふるものねさりを
津藻菜大野原小生物波大島小

よりあまなからるべきのこのまいたよまでくさ
鳥甘菜辛菜時乃菓小至留麻種

ぐさのみあつものをやまみてぐらのたりみてぐらと
二乃饗物乎安幣帛乃足幣帛止

きこめてあやよかときあきつみろくとねやま
聞食豆文小畏伎現神止大八洲

くふろめまめみまのみことりのたあがのみよ
國知食皇御孫命能手長乃御世

をかきたよときまよいたひまつりいかみよの
乎堅磐小常磐小齋奉茂御世乃

たらしみよよさちへまつりあさひかやく
足御世小幸倍奉里朝日輝久御

たけのやまの いや たりよ ねみ らの うごきま くとく
嶽山乃。彌高。大御座。乃動無久。

い 不 え き ま ね 不 つ う の き の いや つ ぎ よ あ め
五百枝。須那。大樛。乃木。乃弥。繼。天

つ ち の む だ き こ ま り な く ね ま ま さ め た ま ひ み
地乃共窮無久。大座。二。結。賜。比。親

こ たち も の つ う さ の ひ と たち を ま め よ い さ を
王等。百官。乃人等。乎。忠誠。功。志。

つ か ま っ ち め た ま ひ よ も の く ぶ の ね み た か ら う ぐ
仕奉。結。賜。比。四方國。乃。百姓等。我。

ま め ら っ か み う と よ ー き た ま ひ ね な ひ た ま へ る く ぶ の
天皇。我。朝廷。敷。賜。比。行。賜。幣。國。

み の り を あ ち ま せ ば う せ こ ち な く あ ぐ き き よ き た 不 き
法。袁。過。犯。事。無。久。明。伎。淨。伎。直。伎。

ま こ の こ ころ も ち て ぞ う つ くる ね き つ こ ころ を あ り き う せ
誠。乃。心。以。取。作。奥。津。年。乎。荒。風。

あらしきみろよ。あそしめが。やつら。のいかし。ふ。
洪水。尔。逢。志。米。八束。穗。乃。茂。穗。尔。

み。のうら。しめ。たまへ。ま。た。か。を。た。ま。と。あ。ふ。き。
實入。志。賜。倍。及。大神。乎。尊。美。仰。伎。

まつりて。た。め。た。た。よ。こ。な。く。つ。し。め。あ。ま。り。て。た。か。し。こ。ろ。ま。
奉。豆。緩。怠。事。無。以。務。結。豆。同。心。尔。

むつび。あ。は。い。め。む。ま。る。む。れ。の。も。の。た。ち。が。つ。の。な。り。た。ち。さ。う。
睦。合。志。講。社。乃。者。等。我。家。業。立。榮。

え。い。の。ち。な。が。く。そ。の。う。み。の。こ。の。や。そ。つ。き。い。や。さ。う。え。
延。命。長。久。其。子。孫。乃。八。十。續。弥。榮。

よ。さ。う。え。し。め。た。ま。ひ。て。あ。ら。あ。ら。よ。ま。ら。ひ。み。き。い。ふ。
尔。榮。志。賜。豆。比。惠。二。良。二。尔。笑。和。布。

つ。と。あ。ろ。し。め。た。ま。へ。ね。の。く。み。そ。の。の。く。み。よ。り。あ。ら。
家。止。在。粮。志。賜。倍。根。國。底。國。里。与。荒。

び。う。と。び。こ。む。ま。か。か。の。ま。が。こ。と。あ。ら。せ。む。
毘。疎。毘。來。武。禍。神。乃。禍。事。在。娘。世。

やぬちやましくたたひよあらうめたまひもあやまぢ

家内安久。穩ニ在ル粮。志賜比。若過

をらまことこのあらむをハかむな不びねな不びよ

犯事乃。在ル粮。神直日。大直日。余

みか不しきお不しまいてよのまありひのまありよ

見直志。聞直志。坐ス志。夜守。日守。余

まむのさちハへたまへと。まどめひざなりふせ。う

護幸。倍賜。止ス閑。鹿自物。膝折伏。鶴自

のうまねつきぬきて。かここ。かここ。みりまを

物。頂根突拔。豆畏美。畏美。白須

拜先祖靈詞

これのたまことよ。いたひまつる。とほつみちやよ

是。廻靈床。余。齋奉。留。遠津祖累代

のみちやたち。うからやうら。のみたまたちの。みまへ。か

能祖等。親族。乃。靈等。乃。御前。余。恐

美み恐か毛こ白も佐ま久を奇さ魂く波し幽み世た 介ま還は里か 且くり里よ

幽事知食須大神等介仕奉里幸かくりごとくあらしめまを おんかみたちよつゝまつりさき

魂波無窮介是乃灵床介鎮坐志みたまを とこしへよこまの たまどこよまづまりまいて

家内安久穗比恙伎事無久其業いへのうちやすくおだひまづまじきことな くそのなり

怠事無久仕奉娘志給布恩頼袁おこなごしなく つらまつらめ たまふ みたまのゆめを

忝奈日介異介仕奉留状乎平介かたげなきひよげよつゝまつるさまを たひらげん

安久介闻看且子孫延八十續家門やすらひやくきこしめしてうごのこ の やそつぎいへか

高久立榮粳志給倍諸乃禍事在たうくたちさうえーめたまへおろくのまがことあ

みね人の新なるものよ
さきもぬきし神文人

法人の形もよ
かきかすこと神川人

全 明治二十三年五月廿六日印刷
年 全月廿八日出版

東京市浅草区橋場町五拾九番地

平民

發行兼編輯人 根本覺太郎

印刷人

鏡乃舎藏版

